

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E132K003		保健体育科授業研究(中等) (Studies in Teaching of Health and Physical Education (Junior High School))															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	4	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 田端真弓 E-mail mtabata@oita-u.ac.jp 内線											
授業の概要	体育授業における運動観察の方法について学び、それらの知識を用いて運動の実施及び観察を行う。これらの実技・実践を踏まえて、運動に関する実施者・観察者間のズレを共有する。また、体育理論の授業づくりの方法について学び、それらを基にして授業を立案し、発表する。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 体育授業における運動観察の方法について説明できる。																	
目標2 運動の観察をしながら、実施者・観察者間のズレ等を上げることができる。																	
目標3 体育理論授業づくりができる。																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 本授業の学問的立場																	
2 世界と身体の関係性																	
3 身体の仕組みと体育授業																	
4 運動の学習と意識																	
5 運動観察と運動観察力の形成																	
6 運動観察に見える指導者学習者間の共有とズレ																	
7 実践																	
8 実技・実践を踏まえた他者との対話や意見交換																	
9 体育授業構想の実践のまとめ																	
10 体育理論教材研究方法 (指導内容の確認)																	
11 体育理論教材研究方法 (教材研究の方法)																	
12 体育理論の授業研究(テーマ設定)																	
13 体育理論の授業研究(文献調査)																	
14 体育理論の授業研究(指導案の構想・立案)																	
15 体育理論の授業研究(発表)																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	運動観察に関する討議 体育理論授業づくりと発表					工夫	その他の									
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	実技・実践・発表に向けた準備(1h)															
	事後学修	配布資料を用いた復習(1h)															
教科書	教科書は指定しない																
参考書	授業中に随時知らせる																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	小レポート	60%															
	討議	20%															
	発表	20%															
注意事項																	
備考																	
リンク																	
	URL																